

JCCA

Kyushu Branch, Japan Civil Engineering Consultants Association

九州支部
支部だより

Vol. 49 2022.7

奉納
十三番山笠

博多駅商店連合会

奉納
十三番山笠

博多駅商店連合会

支部長のご挨拶.....1	部会の活動.....12	令和4年度会員名簿.....17
支部組織図.....3	総務・企画部会.....12	
令和4年度事業運営方針.....4	対外活動部会.....14	
令和3年度事業報告.....6	夢アイデア部会.....15	



日ごろより、一般社団法人建設コンサルタンツ協会並びに同九州支部の活動に格別のご理解、ご支援を賜り、厚く御礼申し上げます。

当支部は、九州・沖縄 8 県の会員総数 155 社（令和 4 年 4 月 1 日時点）で構成しており、全国 9 支部の中でトップクラスの陣容に成長してまいりました。これもひとえに、関係する皆さまのご支援の賜物だと深く感謝申し上げます。

九州支部はこの組織力を背景に、会員相互並びに関係諸機関や地域の皆さまと連携しながら、九州・沖縄地域で暮らす 1,400 万人を超える人々の安全・安心の確保と、その基盤である道路、鉄道、空港、港湾、河川、ダム、上下水道などの社会資本整備における企画、調査、設計、施工監理等の業務に事業者の技術的パートナーとして活動しています。

一方、建設コンサルタントを取り巻く課題として、「就業環境の改善」、「品質の確保・向上」、「常襲化、激甚化する災害への対応」などがあげられます。

就業環境の観点からは、長時間労働の改善やワークライフバランスの推進などが社会全般の課題としてクローズアップされ、建設コンサルタント業界においても一層の魅力向上に向けた「働き方改革」への取組みが重要となっています。

品質の確保については、令和元年 6 月に改正された「品確法（公共工事の品質確保の促進に関する法律）」で、建設コンサルタント業務も同法の対象として明確化されました。これは、建設コンサルタントの地位向上に大きく寄与するものと期待され、業務成果の更なる品質の確保と向上が求められます。

平成 28 年の熊本地震、平成 29 年と令和元年の九州北部豪雨、平成 30 年の西日本豪雨、令和 2 年 7 月豪雨など、九州・沖縄地域では毎年のように豪雨等の大規模自然災害に見舞われ、多数の人的被害に加えて公共土木施設にも甚大な損失が生じています。さらに、一昨年 1 月から現在も続いている新型コロナウイルス感染症のまん延により、自然災害との「複合災害」への対応も迫られています。

このような背景を踏まえ、九州支部では以下の取り組みに力を入れてまいります。

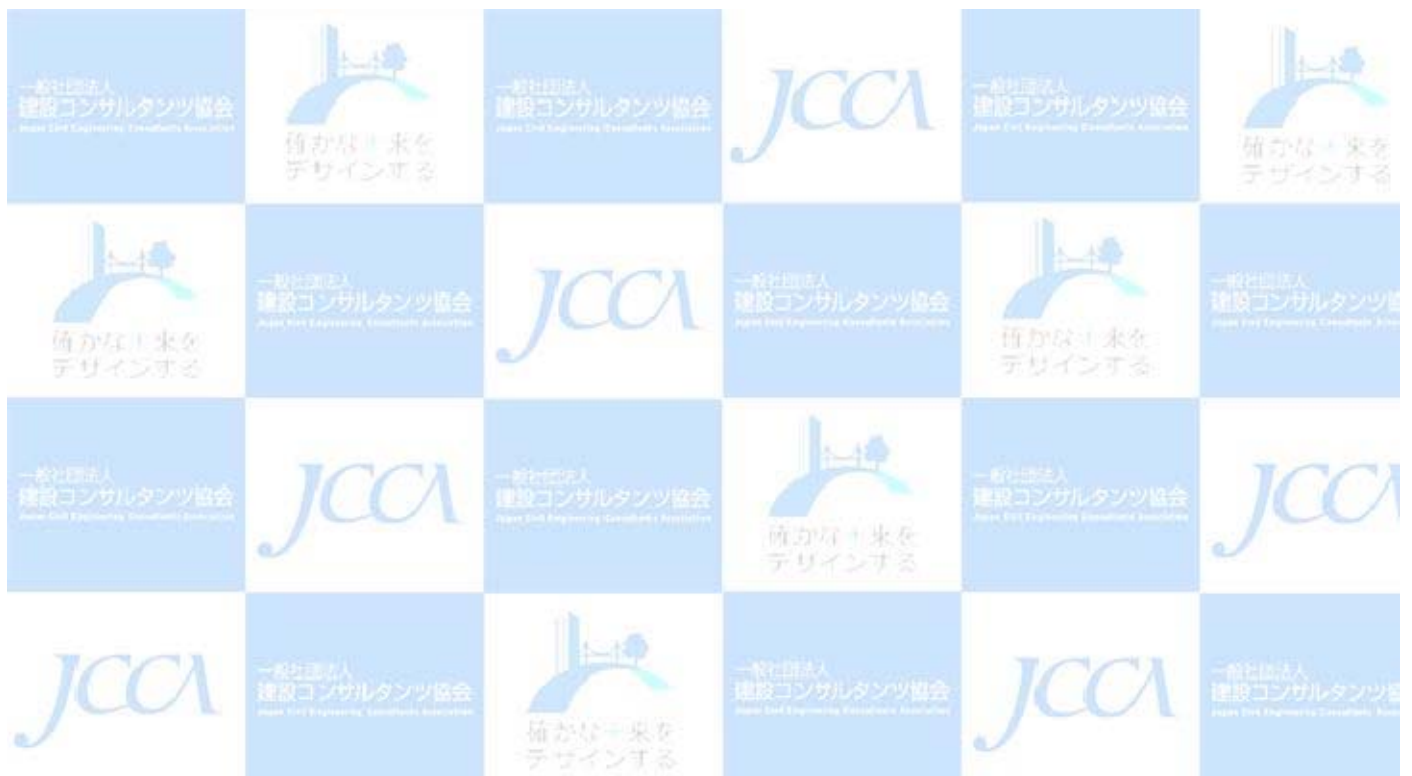
1. 建設コンサルタントの一層の魅力向上に向けた総合的な環境整備
2. 技術力と品質の確保・向上の促進
3. 広報活動の強化と社会貢献活動の推進

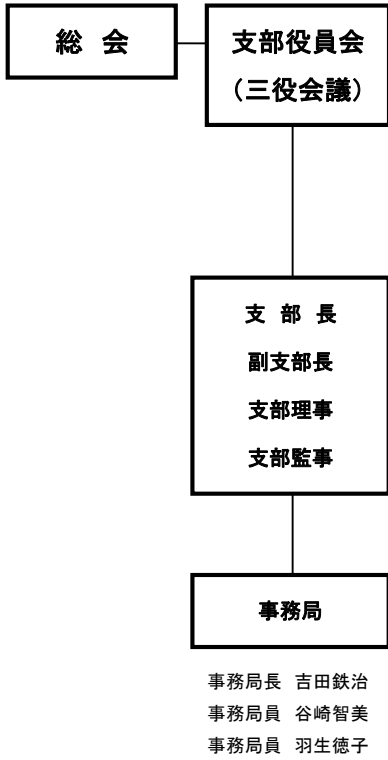
また、九州支部の独自活動である「夢アイデア事業」は昨年 20 年を迎えました。この活動を通じて、地域の皆さまとともにそこに暮らす人々の笑顔あふれる社会の育成支援活動を行い、広い意味での社会資本の形成に努めてまいります。更には本部と連携して、D X を念頭に置いた生産性向上や働き方改革の推進、脱炭素化社会の実現に向けた SDG s への貢献にも、全力をあげて取り組んでいく所存です。

建設コンサルタントとして、日々研鑽に努め、発注者である行政機関や地域の皆さまの頼れるパートナーとして、国民の夢と希望を実現すべく活動することをその使命と考えています。地域を、社会インフラの整備や維持を通して、側面的に支え続けてまいります。

今後とも、より充実した活動が行えますよう、支部・会員各社に対するご理解と一層のご支援をお願いいたします。

令和4年4月
一般社団法人 建設コンサルタンツ協会九州支部
支部長 **田中 清**





支部役員		
支部長	田中 清	第一復建
副支部長	尾長谷孝之	西日本技術開発
副支部長	上村 俊英	建設技術研究所
支部理事	高橋 直哉	エイト日本技術開発
支部理事	安部 清美	扇精光コンサルタンツ
支部理事	藪内 一彦	オリエタルコンサルタンツ
支部理事	里見 武彦	サノココンサルタンツ
支部理事	森山 秀馬	第一復建
支部理事	友光 宏実	大日本コンサルタンツ
支部理事	福元秀一郎	東京建設コンサルタンツ
支部理事	中野 卓朗	パシフィックコンサルタンツ
支部理事	野上 和彦	福山コンサルタンツ
支部理事	眞間 修一	八千代エンジニアリング
福岡(理事)	松延 岳志	東亜コンサルタンツ
佐賀(理事)	大串 正	西日本総合コンサルタンツ
大分(理事)	篠原 昭弘	タイエコンサルタンツ
熊本(理事)	中田慶一郎	九州開発エンジニアリング
宮崎(理事)	菊田 真志	フェニックスコンサルタンツ
鹿児島(理事)	萩原功一郎	萩原技研
監事	上野 竜哉	新日本技術コンサルタンツ
監事	後藤 正孝	復建調査設計

総務・企画部会

部会長:
眞間(八千代E)

副部会長:
里見(サノココンサルタンツ)
高橋(エイト日技)

対外活動部会

部会長:
藪内(オリエ)

副部会長:
野上(福山C)
安部(扇精光C)
松延(東亜コンサルタンツ)
大串(西日本総合C)
篠原(タイエコンサルタンツ)
中田(九州開発E)
菊田(フェニックスコンサルタンツ)
萩原(萩原技研)

技術部会

部会長:
福元(東京建設C)

副部会長:
森山(第一復建)
友光(大日本C)

夢アイデア部会

部会長:中野(パシフィックC)

副部会長:上野(新日本技術C)
後藤(復建調査設計)

特別部会

部会長:田中(第一復建)

副部会長:尾長谷(西技)
上村(建技)

地域部会

総務委員会 委員長1名、副委員長2名
委員長:長尾 智洋 (西鉄シーイーコンサルタンツ)
副委員長:吉本 修 (福山コンサルタンツ)
副委員長:水保 健 (西日本技術開発)

企画委員会 委員長1名、副委員長2名
委員長:熊川 正勝 (西鉄シーイーコンサルタンツ)
副委員長:安永信一郎 (国土技術コンサルタンツ)
副委員長:加藤 裕明 (パシフィックコンサルタンツ)

女性技術者委員会 委員長1名、副委員長2名
委員長:笠瀬明日香 (建設技術研究所)
副委員長:大重 岬 (総合技術コンサルタンツ)
副委員長:浜田千友美 (大進)

若手技術者委員会 委員長1名、副委員長2名
委員長:太刀掛正俊 (長大)
副委員長:黒葛川 彬 (千代田コンサルタンツ)
副委員長:増本 哲也 (三井共同建設コンサルタンツ)

広報委員会 委員長1名、副委員長2名
委員長:山崎 祐一 (日本工営)
副委員長:荒木 和哉 (中央コンサルタンツ)
副委員長:兒島 鉄平 (長大)

対外活動委員会 委員長1名、副委員長4名
委員長:中島 隆信 (建設技術研究所)
副委員長:松嶋 憲昭 (扇精光コンサルタンツ)
副委員長:永富 雅幸 (八千代エンジニアリング)
副委員長:前田 秀喜 (西日本技術開発)
副委員長:松下 正博 (東京建設コンサルタンツ)

防災委員会 委員長1名、副委員長1名
委員長:能見 忠歳 (応用地質)
副委員長:岡本 憲治 (福山コンサルタンツ)

河川技術委員会 委員長1名、副委員長2名
委員長:松田 如水 (パシフィックコンサルタンツ)
副委員長:西島 武 (八千代エンジニアリング)
副委員長:杉本 博幸 (いであ)

道路技術委員会 委員長1名、副委員長3名
委員長:田中 智行 (中央コンサルタンツ)
副委員長:田口 直樹 (総合技術コンサルタンツ)
副委員長:永吉 竜二 (千代田コンサルタンツ)
副委員長:福田 周吾 (橋梁コンサルタンツ)

環境・都市等技術委員会 委員長1名、副委員長2名
委員長:前田 武 (復建エンジニアリング)
副委員長:高木 洋輔 (東京建設コンサルタンツ)
副委員長:松島 智雄 (日本工営都市空間)

講師派遣委員会 委員長1名、副委員長2名
委員長:山口順一郎 (長大)
副委員長:原田 隆弘 (八千代エンジニアリング)
副委員長:田中 秀昭 (福山コンサルタンツ)

情報委員会 委員長1名、副委員長2名
委員長:三笠 真吾 (西日本技術開発)
副委員長:津田 雄則 (建設技術研究所)
副委員長:今村 秀秋 (東京建設コンサルタンツ)

品質向上委員会 委員長1名、副委員長2名
委員長:畑 秀明 (千代田コンサルタンツ)
副委員長:石井健太郎 (オリエタルコンサルタンツ)
副委員長:菰方 弘樹 (中央コンサルタンツ)

夢アイデア企画委員会 委員長1名、副委員長2名
委員長:鷹羽 誠 (東亜建設技術)
副委員長:荒井 和久 (オリエタルコンサルタンツ)
副委員長:外山 秀人 (八千代エンジニアリング)

夢アイデア実行委員会 委員長1名、副委員長2名
委員長:福満 孝博 (日本工営都市空間)
副委員長:待田 和幸 (パシフィックコンサルタンツ)
副委員長:清水 亨一 (西日本技術開発)

災害対策委員会 委員長1名、副委員長2名
委員長:田中 清 (第一復建)
副委員長:尾長谷孝之 (西日本技術開発)
副委員長:上村 俊英 (建設技術研究所)

各県部会

部会長:萩原(萩原技研)、副部会長:大串(西日本総合C)

令和4年7月1日現在

現在、世界が直面する新型コロナウイルス感染拡大の危機は、我が国においても社会システム、人々の生活に大きな変化をもたらしました。度重なる人流抑制は、「テレワーク」「WEB会議」を定着させるとともに、東京23区での初の転出超過、社会基盤の存続維持困難など、新たな現象、課題を生み出しました。

世界に目を移すと、先進国水準から我が国が遅れているとされるDX（デジタル・トランスフォーメーション）推進の重要性が新たに認識されるとともに、地球温暖化対策を経済成長の鍵とする方針を表明する国が相次ぎ、我が国も2050年のカーボンニュートラル実現を決定しました。

さらに、今年2月に勃発したロシアによるウクライナ侵攻は、世界経済に大きな影を落とし、その影響は計り知れず、今後、長期にわたることが必至な状況にあります。

我が国固有の危機として、毎年のように発生する自然災害の激甚化、頻発化が挙げられます。九州も例外ではなく、2016年4月の熊本地震、2017年7月の九州北部豪雨、2018年7月の西日本豪雨、2019年8月の九州北部豪雨、2020年7月豪雨などが記憶に新しいところです。

これら災害発生時において行政機関が実施する災害復旧・復興に対して、建設コンサルタンツ協会九州支部（以下、建コン九州支部）では、被災地域の実態調査や復旧計画・設計など、様々な場面で速やかな協力・支援を実施してきました。より多くの機関との災害協定締結を目指すとともに、協力体制・運用方法の充実を図っています。

このように建コン九州支部は、行政機関のよきパートナーとして、九州を中心とした社会経済活動全般を支える重要な役割を果たしています。今後も、安全・安心で豊かな国民生活と活力ある社会経済活動が達成されるような社会資本整備の実現に向け、一層重要な役割を担っていきます。

一方、建設コンサルタントをとりまく環境として、2019年に改正された公共工品質確保促進法（以下、改正品確法）の中で「災害時の緊急対応の強化」、「働き方改革の推進」、「生産性の向上」が追加され、これまで「工事に準ずる」扱いであった“調査等（測量、地質調査、点検・診断を含むその他調査、設計）業務”、いわゆる建設コンサルタントが担う分野に関して品質確保が明確化されました。建設コンサルタントは、改正品確法の基本理念である「適正な利潤を確保」しつつ、「担い手の中長期的な育成・確保」と「公共工品質確保」を実現するための具体的な方策を掲げて活動する必要があります。

2016年1月に打ち出された「i-Construction」施策は、建設プロセス全体にICT技術を導入・活用する事により生産性向上を図るもので、建設コンサルタントにもその対応が求められています。

さらに、2030年までの国際目標になっているSDGsに対して、建設コンサルタントは、自然災害リスク、水資源、エネルギー、生物環境などの長期的なリスクを見据え、多様な分野で事業を展開しています。従来の枠組みを超え、官・学、NPO法人、異業種など幅広いステークホルダーと連携することで、社会課題を解決し、社会に新しい価値を生み出す活動に取り組む必要があります。

2019年4月に改正された労働基準法に伴う“時間外労働の制限”は、翌2020年4月から企業規模に関わらず全ての企業に適用されています。加えて2020年4月の「改正民法」施行に伴い、「公共土木設計業務等標準委託契約約款」が改正され、“契約不適合責任”が建設コンサルタントに課せられるようになりました。これら新しい法令への遵守の徹底も我々の責務です。

建設コンサルタントを取り巻く上記状況の中、建コン九州支部は、法令を遵守し、発注者とのパートナーシップの維持と向上、会員企業の共通課題の認識と解消、および魅力あふれる職業分野の確立等に向け、①経営

安定と就業環境の改善、②技術力と品質の確保・向上および生産性の向上、③社会的な認知度の向上等に取り組むとともに、会員であることによる便益向上を推進する活動を行ってまいります。

以上を踏まえ、建設コンサルタンツ協会九州支部の令和4年度事業は、以下の運営方針で展開します。

(1) 建設コンサルタンツの一層の魅力向上に向けた総合的な環境整備

- ① 発注機関との意見交換会の開催と「要望と提案」の提起
- ② 経営の安定化と就業環境の改善のための環境整備
- ③ 若手・女性社員がより働きやすく、活躍できる職場環境作りの推進

(2) 技術力と品質の確保・向上の促進

- ① 各技術分野における技術力と品質の確保・向上施策に関する情報提供の促進
- ② 生産性向上につながる各種の施策や先進技術等の情報提供と取組みの促進
- ③ 受発注者それぞれの役割を踏まえた今後の国土強靱化への取組みの促進

(3) 広報活動の強化と社会貢献活動の推進

- ① 産学官一体となった建設コンサルタンツの社会的役割と意義および業務内容等に関する広報活動の強化
- ② 災害支援活動の充実と防災技術に関わる各種情報等の提供
- ③ SDG s を踏まえた企業の社会的責任（CSR）活動への対応支援

(4) 職業倫理の保持と法令遵守の徹底

- ① 職業倫理の保持について啓蒙活動の推進
- ② 法令遵守の徹底と課題発生時における助言・対応支援等
- ③ 労働法制改正、民法改正への対応支援

(5) 会員であることによる便益向上の一層の促進

- ① 上記4項目による便益についての理解の促進
- ② 企業経営等に関わる各種研修会・講習会による情報提供
- ③ 企業のDX推進に向けた各種情報の提供

[補足説明]

- 1) 事業運営の大きな柱として、(1)・(2)・(3)を立てる。(1)は建設コンサルタンツ事業の根幹に関わる方針、(2)は当該事業の立脚点である技術力と品質に関わる方針、(3)は当該事業の社会的位置と貢献に関わる方針である。
- 2) (4)は建設コンサルタンツ事業を営む上での絶対的条件である職業倫理と法令遵守に関わる方針である。
- 3) (5)は特に会員の便益向上の一層の促進に関わる方針である。

以上

2019年末に中国の武漢で初めて特定されたSARSコロナウィルス2(SARS-CoV2)を原因とする新型コロナウイルス感染症(COVID-19)は、瞬く間に世界中に拡大し、人類の生活を激変させることとなりました。令和2年度は、「2020年流行語年間大賞」において、新型コロナウイルス感染症拡大防止策である「3密を避ける」である「3密」が選ばれる等、新型コロナウイルス感染症拡大防止策を徹底することが第一とされた年といっても過言ではない年でありました。特に、DX(デジタルトランスフォーメーション)技術の進歩もあり、人の移動・接触抑制対策として、「テレワークの推進」、「WEB会議の実施」、「講習会等のオンライン聴講」等が一気に浸透した年でもありました。

令和3年度においても新型コロナウイルスのデルタ株・オミクロン株などの変異種による感染拡大により、「テレワークの推進」、「WEB会議の実施」、「講習会等のオンライン聴講」などが当たり前となった年でもありました。

また、我が国では毎年のように自然災害が発生し、各地に甚大な被害をもたらしています。九州においても例外ではなく、2016年4月の熊本地震、2017年7月の九州北部豪雨、2018年7月の西日本豪雨、2019年8月の九州北部豪雨、2020年7月の令和2年7月豪雨などが記憶に新しいところです。特に九州地方整備局や自治体等の行政機関では、これらの災害から住民の安心・安全を確保していくために、さまざまな対応を行っております。また、建設コンサルタンツ協会九州支部は、災害対応を行う行政機関に対して速やかに協力できるように、災害協定を締結して支援を行っており、防災・減災対策の推進に向けて協力しています。

我々建設コンサルタントは、国民の安心・安全な暮らしを支える強靱で持続ある国土形成のために、社会資本の確実な整備と維持管理の計画的・持続的推進が重要であるという認識のもと、優れた品質の成果物を継続的に提供していくことが社会的使命であると考えています。

一方、我々をとりまく環境として、長年続いてきた公共事業の削減によって「建設コンサルタント企業の健全な発展」および「技術者の魅力向上と展望ある成長」が阻まれる状況にありました。しかし、ここ10年来の公共事業費の下げ止まり、9年連続での設計業務技術者単価の上昇、2014年の公共工品質確保促進法の制定など建設コンサルタントにとって明るい兆しが見えてきました。さらに2019年には、この品質法の改正が行われました。今回の改正では、「災害時の緊急対応の強化」、「働き方改革の推進」、「生産性の向上」が新規に追加され、これまで“工事に準ずる”扱いとされてきた“調査等(測量、地質調査、点検・診断を含むその他調査、設計)業務”の品質の確保対応も明確化されました。我々は、改正品質法の基本理念である「適正な利潤を確保」しつつ、「担い手の中長期的な育成・確保」と「公共工品質の確保」を実現するための具体的な方策を掲げて活動する必要があります。さらに、建設現場の生産性向上等を目指して平成28年1月に打ち出された「i-Construction」施策は、現場の測量から、設計、施工、維持管理に至る建設プロセス全体にICT技術を導入・活用する事により生産性向上を図るもので、建設コンサルタントにもその対応が求められています。

さらに、2019年4月に改正された労働基準法に伴う“時間外労働の制限”は、2020年4月からは全協会員に関わるようになりました。さらに、2020年4月から施行された「改正民法」への対応として「公共土木設計業務等標準委託契約約款」が改正され、“契約不適合責任”が我々受注者に課せられるようになりました。これら新しい法令への遵守の徹底も我々の責務になります。

このような状況の中、令和3年度には次に示す運営方針を掲げ、発注者とのパートナーシップの維持向上と相互理解を図りつつ、会員企業共通の課題認識とその解消、さらに魅力ある職業としての確立等に向けて①経営の安定と就業環境の改善、②技術力と品質の確保・向上および生産性の向上、③社会的な認知度の向上④法令を遵守し、会員であることによる便益向上の推進等を会員各位のご尽力を頂きながら、様々な事業活動を展

開してまいりました。

【 令和3年度（2021年度）運営方針 】

（1）建設コンサルタントの一層の魅力向上に向けた総合的な環境整備

- ① 発注機関との意見交換会の開催と「要望と提案」の提起
- ② 経営の安定化と就業環境の改善のための環境整備
- ③ 若手・女性技術者がより働きやすく、活躍できる職場環境作りの推進

（2）技術力と品質の確保・向上の促進

- ① 各技術分野における技術力と品質の確保・向上施策に関する情報提供の促進
- ② 生産性向上につながる各種の施策や先進技術等の情報提供と取組みの促進
- ③ 受発注者それぞれの役割を踏まえた今後の維持管理事業への取組みの促進

（3）広報活動の強化と社会貢献活動の推進

- ① 産学官一体となった建設コンサルタントの社会的役割と意義および業務内容等に関する広報活動の強化
- ② 災害支援活動の充実と防災技術に関わる各種情報等の提供
- ③ 各種社会貢献活動等の継続と充実（夢アイデア交流会、講師派遣等含む）

（4）職業倫理の保持と法令遵守の徹底

- ① 職業倫理の保持について啓蒙活動の推進
- ② 法令遵守の徹底と課題発生時における助言・対応支援等
- ③ 労働法制改正、民法改正への対応支援

（5）会員であることによる便益向上の一層の促進

- ① 上記4項目による便益についての理解の促進
- ② 企業経営等に関わる各種研修会・講習会による情報提供
- ③ DX(デジタルトランスフォーメーション)に対応したオンライン講習会の拡充

令和3年度は、新型コロナウイルス感染症により、「緊急事態宣言」の発令、まん延防止等重点措置の適用がされましたが、私たちは、国民の安全と安心をまもるために『継続すべき業務を担う業界』であるとの認識のもと、協会活動を行ってまいりました。

具体の事業活動については、支部役員会での審議結果に基づき、総務・企画部会、対外活動部会、技術部会、夢アイデア部会、特別部会、地域部会の6部会とその下部組織である合計17の委員会が中心となり、会員会社や事務局の支援・協力のもと、自立的かつ積極的な活動を展開して参りました。

継続してきましたこれまでの活動に対して支持と賛同を得、九州支部の会員数は、令和3年度末には155社（本会社103社、支会社52社）となりました。これは関東支部の157社に次ぐ、全国の支部の中でトップクラスの陣容となっています。

活動内容の詳細は、各部会報告に示すとおりですが、運営方針に沿った全体の総括を、以下にご報告いたします。

（1）建設コンサルタントの一層の魅力向上に向けた総合的な環境整備

① 発注機関との意見交換会の開催と「要望と提案」の提起

国土交通省九州地方整備局、内閣府沖縄総合事務局および各地方自治体と意見交換会等（国の機関とは本部・支部で、地方自治体とは支部単独で開催）を実施しました。九州地方整備局とは、実務者レベルの業務円滑化調整会議も実施しました。意見交換会はコロナ禍により状況に応じ対面会議、Web会議、文書回答にて実

施しました。また、九州地方整備局との支部単独による意見交換会・業務円滑化調整会議を実施しました。一方で、NEXCO 西日本九州支社との業務円滑化調整会議は実施しましたが、意見交換会については予定時期がコロナ禍によるまん延防止等重点措置適用期間と重なったため開催できませんでした。

各自治体との意見交換会では、支部会員会社へのアンケート等による発注者別のデータを充実させ、会員の声を反映した内容とし、それぞれの特徴を考慮した「各自治体個別の要望と提案」を中心に時間を十分にとった課題解決型の意見交換を実施しました。

その結果、各自治体と充実した意見交換会ができるように改善されたことに加え、受注者が認識する課題に対して発注者の理解が一層進んで来たと評価しています。

② 経営の安定化と就業環境の改善のための環境整備

発注者との意見交換会においては、国の機関および各自治体の今後の発注見通しについて情報提供を求めるとともに、それを踏まえた経営の安定化に資する取組み、すなわち担い手の継続的な確保・育成、および就業環境整備等の議論を行いました。

労働時間の削減とワークライフバランスの推進は、建設コンサルタント業界としても受発注者双方で取り組むべき喫緊の課題です。発注者との意見交換会においても「必要な工期の確保と納期の平準化」、「ウイークリースタンスの取組み」、「Web 会議の推進」、「条件明示チェックシートの活用」などを要望し、各発注者より前向きな回答を得ております。また「ノー残業デー」については、本部主催の全国一斉の取組みに呼応し、支部においても多くの会員会社が参加しています。

③ 若手・女性技術者がより働きやすく、活躍できる職場環境作りの推進

九州地方整備局との業務円滑化調整会議において、若手・女性技術者の活躍を促進するような業務発注のあり方を受発注者協働で継続的に検討を行い、具体的な試行業務の実施と改善を進めています。

支部においては、例年実施している「若手技術者交流会」を開催し、若手技術者による業務成果の発表と活発な意見交換を行いました。令和 3 年度も前年度同様にコロナ禍によりハイブリット形式（会場参加と Web 参加を併用）にて行いました。毎年参加している大学生が参加できなかったのが残念でした。しかし、若手技術者委員会が開催した学生参加型の「Job-Cafe」では、多くの大学生と専門分野ごとにフリートークを行うことができました。さらに、建設コンサルタントを市民に知ってもらうために、バス外側シート広告を西鉄バス 3 台に 3 か月間ラッピング掲載しました。

女性技術者委員会では、「第 5 回女性技術者交流会」を Web 開催しました。新しい生活様式を踏まえた働き方などについて意見交換を行うなど活発な活動行っています。また、女性技術者委員会の活動を報告する「ニューズレター」も 12～14 号を発行し、広報活動の一翼を担っています。さらに、関東・近畿・中部支部にて同様の活動をしている方々との 4 支部意見交換会を実施しました。

(2) 技術力と品質の確保・向上の促進

① 各技術分野における技術力と品質の確保・向上施策に関する情報提供の促進

会員会社の技術力向上の観点からは、河川、道路、環境・都市等の 3 技術分野、具体的には、河川、砂防、ダム、道路、橋梁、トンネル、環境、都市計画、地方創生等の多岐にわたる個別技術について、各種の技術講演会、技術セミナー、研究会、発注者との技術意見交換会等を実施しました。コロナ禍により、ハイブリットまたは Web 開催としました。なお、一昨年度まで実施している現地見学会はコロナウィルス感染防止の観点から、河川技術委員会、道路技術委員会、環境都市等技術委員会の 3 委員会にて Web 現場講習会を開催し、設計と工事の関わりを通して技術者としての見識向上を図りました。現場見学会では参加募集人数が 40 名程度ですが、Web 開催により、延べ約 440 名の方に参加いただきました。

品質向上の観点からは、“成果品の品質向上”を目指し、あらゆる分野について継続的な改善施策の検討を行い、効果的な情報提供と啓蒙活動を展開しました。本部主催の「マネジメントセミナー」や「品質セミナー」は Web 開催となりましたが、地域会員のためにエラー事例とその改善策を継続的に提供する「地域セミナー」

を大分県、宮崎県、鹿児島県で開催しました。また、令和2年度から佐賀県、長崎県、熊本県、宮崎県で実施している地方の会員会社向け技術講習会を令和3年度は大分県を加え5県での開催を計画しましたが、新型コロナウイルス感染症拡大に伴い長崎県、熊本県、大分県の3県での開催となりました。

② 生産性向上につながる各種の施策や先進技術等の情報提供と取組みの促進

地域会員に向けた「情報セミナー」を支部主催で開催し、BIM/CIM、情報セキュリティに関するの最新情報を提供しました。また、令和3年度は新たな企画として「建設コンサルタントDX講演会」を開催し、クラウド、AI、BIM/CIM、RPA等の最新情報を提供しました。

しかし、本部の関係委員会と連携しながら、会員会社の生産性向上に向けての情報提供やスキルアップを目的として毎年実施していた「ICTセミナー」、「情報セキュリティ講習会」は、本部単独主催となりました。なお、「GIS講習会」、「CIMハンズオン講習会」については、コロナ感染拡大防止の観点からやむを得ず中止しました。

また、i-Constructionの推進への取組みの一環として、九州地方整備局の「産学官連携会議（ICT・標準化作業部会）」へ参画し、最新情報の収集と提供を進めています。

③ 受発注者それぞれの役割を踏まえた今後の維持管理事業への取組みの促進

河川、ダム、道路、橋梁、トンネル等の維持管理については、九州地方整備局の各担当部局との意見交換会、勉強会、研究会等を開催し、その中で受発注者協働による今後の維持管理事業のあり方等についての検討を進めています。特に橋梁については、PC建協・橋建協との合同研究会（橋梁三力研究会）等による維持管理事業への取組みを検討しています。

（3）広報活動の強化と社会貢献活動の推進

① 産学官一体となった建設コンサルタントの社会的役割と意義および業務内容等に関する

広報活動の強化

産学官連携による各種イベント等の機会を活用しながら、一般市民や学生等を対象に建設コンサルタントの社会的役割と意義および業務内容等について、広く情報発信を進めています。具体的には、「九州建設技術フォーラム」や「夢アイデア交流会」などのイベントでの広報や、「インフラメンテナンス国民会議九州フォーラム」の事務局として支援を進めています。

さらに、ホームページによる広報を継続するとともに、長崎大学と琉球大学のインターンシップ講演会に講師を派遣するなど、リクルートのための広報戦略強化を進めています。また、メディアへの対外広報として、業界紙各社に毎月1回定期的に取材可能情報を連絡するとともに、新聞社取材記事のホームページへのアップロード等を適宜実施しています。

② 災害支援活動の充実と防災技術に関わる各種情報等の提供

令和3年度の防災訓練は「三重県熊野沖で大規模地震が発生」との想定のもと、本部と連携した協会全体での演習を実施し、大規模災害発生時における会員会社への情報伝達および支援活動の即応性等の検証を行いました。

また、令和3年度末における災害協定締結団体は、九州地方整備局、沖縄総合事務局、熊本県、北九州市、熊本市、福岡北九州高速道路公社、西日本高速道路(株)九州支社の7団体であり、支援要請時には速やかに対応できるように体制を整えています。

③ 各種社会貢献活動等の継続と充実（夢アイデア交流会、講師派遣等含む）

現在九州支部が取り組んでいる社会貢献活動は、夢アイデア事業と講師派遣を主要な柱としています。

夢アイデア事業については、提案された夢アイデアをいかに実現化に結び付けていくか、その具体的なアプローチを進めていくことが、最も重要な社会貢献であると認識しています。そのため、さらに広範な一般市民の参画を促すとともに、夢アイデアを現実的な事業として推進していくことのできる人材の育成に取り組んでいます。

夢アイデアの実現化に向けた取組みについては、平成 27 年に NPO として登録済みの「ヤギヒツジ ECO プロジェクト」、宮崎県西米良村における「思い出 NAVI プロジェクト」、福岡市唐人町商店街における「無礼講ストリート」、ファミリー向けイベントとして「食べられる公園ー子育て環境創出プロジェクト」等の各プロジェクトを一昨年度まで毎年実施していましたが、令和 3 年度は新型コロナウイルス感染拡大のため「九州まちづくりプロジェクト」のみの実施となりました。

「九州郷づくり共助ネットワーク研究会活動」は 12 年目を迎え、柴北川プロジェクトや雲仙プロジェクトを着実に進めていますが、令和 3 年度はコロナ禍により活動はできませんでした。

これらの夢アイデア実現化に向けた取組みは、with コロナ/after コロナやニューノーマルに対応した生活や空間形成などを考慮した新しいスタイルも視野に継続実施していきたいと考えています。

講師派遣については、国土交通省や地方自治体および関連団体等が開催する研修会等へ、依頼に基づいた最適な人材を派遣し、当該職員への情報提供とその技術力向上の促進に取り組んでいます。令和 3 年度は、福岡県、宮崎県、鹿児島県の各建設技術センターへの講師派遣を実施しました。

(4) 職業倫理の保持と法令遵守の徹底

① 職業倫理の保持について啓蒙活動の推進

「一般社団法人建設コンサルタント協会倫理綱領」および「建設コンサルタント技術者の倫理」を常に念頭に置いて業務遂行にあたるよう、役員会等を通じて会員会社への啓蒙に取り組んでいます。

② 法令遵守の徹底と課題発生時における助言・対応支援等

会員会社における法令遵守の徹底を図るため、建設関連業五団体共催による「令和 3 年度コンプライアンスに関する会員研修会」を 11 月に対面方式にて開催しました。また、「コンプライアンス・プログラム」の策定状況について役員会等を通じて報告するとともに、同プログラムの策定事例等を会員に配布し、法令遵守の徹底を周知しています。

③ 労働法制改正、民法改正への対応支援

会員会社に対しては、11 月にハイブリット形式にて開催した働き方改革セミナーのなかで、リモートワーク実践のポイントと法改正事項について説明しました。

発注者に対しては、労働法制改正に伴う残業時間の規制が、中小企業においても令和 2 年 4 月から実施され、全ての企業が対象になることを説明し、就労環境改善の受発注者協働での取組みを意見交換会の場で強く要望しました。

また、民法改正に伴い、設計ミスが発生した場合の「契約不適合責任」を負う有効期間が長くなったことを、役員会等を通じて周知しました。

(5) 会員であることによる便益向上の一層の促進

① 上記 4 項目による便益についての理解の促進

毎月開催の三役会議および役員会で種々の支部活動についての審議と方針決定を行い、これに基づき各部会および傘下の委員会活動を実施しています。その中で、常に上記 4 項目についての便益を、会員会社があまねく享受できるように留意するとともに、活動時期の平準化や委員会相互の情報交流の促進について検討を行い、「会員であることによる便益と満足度の向上」に努めています。特に、地域の会員会社の意見等については、本部地域コンサルタント委員会および地域部会を通じて、より一層きめ細かく支部活動へ反映させる取組みを進めています。

② 企業経営等に関わる各種研修会・講習会による情報提供

本部主催の「経営分析説明会」を Web で開催し、企業経営に関わる重要な現状分析と知見の提供を行いました。また、令和 2 年度に続き支部主催で「働き方改革セミナー」を開催しました。管理部門の職員のみならず、業務実施現場の技術管理者に必須の極めて実利的な講習内容でした。

さらに本部主管の RCCM 資格試験については、令和 2 年度は新型コロナウイルス感染拡大防止のため RCCM 資格

試験を実施できませんでしたが、令和3年度はCBT試験方式にて実施することができました。

③ DX(デジタルトランスフォーメーション)に対応したオンライン講習会の拡充

前述のように、新型コロナウイルス感染症拡大により、WEB会議及びオンライン講習会等が急速に普及しました。しかし、講演会中の音声遮断等の不具合が散見され、地方会員の方々にご迷惑をかけており、システム改善とルールの策定が必要であった状況より、令和3年の総会にて新たなシステム導入の予算を承認いただきました。これを踏まえて、令和3年度は、企画委員会が中心となり、導入機器の検討、デモンストレーションの実施を経て導入機器を決定し、9月に講習会の事前テストを兼ねた説明会を2度実施しました。本音響機器の導入により、講演会・セミナー・現地オンライン講習会・夢等をオンラインで開催し、多数の方に参加していただきました。

令和3年度はコロナ禍により、本部支部を問わず、講習会やセミナーをオンラインで開催せざるを得ない状況となりました。九州支部は、平成28年度より導入していた「サテライト受講システム」によりオンライン講習の要領を取得していたため、他団体に比べていち早く対応し、会員の皆さまの便益の向上に寄与できたものと思っています。今後とも支部としてIT機器への投資を行い、オンラインでの講習会やセミナーの受講環境の向上に努めたいと考えています。

以上

【総務・企画部会】

1. 令和4年 定時総会（総務委員会）

令和4年4月19日、令和4年定時総会を開催し、下記のとおり報告ならびに決議した。

議案		
(審議)	第一号議案	令和3年度事業報告(案)について
	第二号議案	令和3年度決算(案)及 監査報告について
	第三号議案	役員の改選(案)について
(報告)	第一号議案	令和4年度事業計画について
	第二号議案	令和4年度予算について

場 所：オリエンタルホテル福岡博多ステーション3階「YAMAKASA」



▲令和4年定時総会の様子

2. 「第41回軟式野球大会」(総務委員会)

イベント名 「第41回軟式野球大会」

開催日 令和4年6月3日(金)～6月4日(土)

場 所 雁ノ巣レクリエーションセンター

参加者 21チーム

結 果 【優勝】JR九州コンサルタンツ(株) 【準優勝】国際航業(株) 【三位】(株)建設技術研究所
【四位】(株)長大



▲優勝のJR九州コンサルタンツ(建設工業新聞社提供)

3. 令和4年度 第1回委員長交流会（企画委員会）

- イベント名 令和4年度 第1回 委員長交流会
開催日 令和4年6月16日（木）15:00～17:00
場所 リファレンス駅東
参加者 25名
内容 1.令和3年度第2回委員長交流会議事録について
2.令和4年度事業運営方針について
3.令和4年度予算計画について
4.令和4年度事業計画について（各委員長 事業計画の確認）
5.その他事項（広報活動の共有化、ファイルサーバー導入など）



▲第1回委員長交流会の様子

4. 建設関連業五団体主催「コンプライアンスに関する会員研修会」（総務委員会）

現在の社会情勢を踏まえて、改めてコンプライアンス遵守の重要性について、その役割を認識し法への理解を深めるための研修会を建設関連業五団体共催で開催した。

- イベント名 建設関連業五団体主催「コンプライアンスに関する会員研修会」
開催日 令和4年6月22日（水）14:00～17:00
場所 （財）福岡県中小企業振興センター「大ホール」(福岡市博多区吉塚本町9-15)
参加者 171名（うち建コン会員 83名/49社）
主催団体（一社）建設コンサルタンツ協会九州支部
（一社）福岡県測量設計コンサルタンツ協会
（一社）福岡県地質調査業協会
（一社）日本補償コンサルタント協会九州支部
（公社）全国上下水道コンサルタント協会九州支部
内容 ■ 「パワハラ防止に効く職場のコミュニケーション活性化術」
講師：社会保険労務士 伴 芳夫 氏（アドバンス代表社員）



▲コンプライアンスに関する会員研修会の様子

【対外活動部会】

1. 自治体との意見交換会総括会見（対外活動委員会）

記者会見開催日	令和4年2月21日 14:00~15:00（於：建コン会議室）	
自治体名	開催日	
九州地方整備局・地方自治体意見交換会	令和3年8月2日	<ul style="list-style-type: none"> ■ 協会本部からの「要望と提案」 1. 担い手確保・育成のための環境整備 2. 技術力による選定 3. 品質の確保・向上 ■ 「意見交換」 （1）担い手確保・育成のための環境整備 （2）技術力による選定 （3）品質の確保・向上 （4）その他
沖縄総合事務局意見交換会	令和3年11月8日	<ul style="list-style-type: none"> 1. 担い手の育成・確保のための環境整備 2. 技術力による選定 3. 品質の確保・向上 4. 総合事務局への個別要望
九州ブロック7県・3政令市、沖縄県意見交換会	福岡県 12/22 佐賀県 12/24 長崎県 11/1 熊本県 1/14 大分県 12/17 宮崎県 11/16 鹿児島県 11/18 北九州市 11/18 福岡市 11/9 熊本市 10/29 沖縄県 書面回答	<ul style="list-style-type: none"> 1. 担い手の育成・確保のための環境整備 2. 技術力による選定 3. 品質の確保・向上 4. 県（市）への個別要望

idea 第20回 夢アイデア まちづくりに関する提案の募集

夢のような話を、
本気でしよう。

夢アイデア作品募集！

テーマは何でもOK!
まちづくり、地域振興、観光、
景観、環境、農業、子育てなど、
テーマや対象地域は自由!

応募締切
2022年 9月 30日

賞金

一般の部 (賞金) ジュニアの部 (図書券)

最優秀賞 20万円 最優秀賞 3万円

優秀賞 10万円

優秀賞 1万円

優良賞 5万円

優良賞 5千円 ※ジュニアの部は中学生以下

応募先・お問い合わせ

住所:福岡市博多区博多駅東1-13-9 いちご博多駅東ビル8階

(一社)建設コンサルタンツ協会九州支部「夢アイデア企画」係

MAIL: qsinfo@jcca.or.jp / FAX: 092-434-4342

HP: <http://www.jcca.or.jp/kyokai/kyushu/dream>

夢アイデア

検索



Web

【主催】:(一社)建設コンサルタンツ協会九州支部 【後援】:国土交通省九州地方整備局、(公社)日本技術士会九州本部
【協賛】:(一社)九州地域づくり協会、(一社)建設コンサルタンツ協会

どんなまちに住んでみたいですか？ どんなまちを訪ねてみたいですか？ みなさんのまちづくりへの 夢やアイデア大募集！

夢アイデアは、自分たちの思い描く「まち・地域像」の夢やアイデアを具現化することにより、より良いまちづくりを目指すものです。まちを楽しくする、まちを元気にする、ひとが驚き、感動するあなたの夢アイデアを募集しています。これまで、940編あまりの応募をいただき、実現に向かって動いている取り組みも少なくありません。たくさんのご応募、お待ちしております！

夢アイデアの応募方法！

応募の書式・枚数は自由！

手書きのイラストや原稿、またはワープロ原稿など書式や枚数は自由です。提案の特徴やアピールしたい点をまとめたうえ、イラストや原稿末尾に「住所」、「職業」、「所属（会社名、学生は学校名及び学年）」、「氏名（ふりがな）」、「年齢」、「電話番号」、「メールアドレス」「この企画を知ったきっかけ」を記載し、メール・郵送・FAXにて印刷物、データ（CD-Rなどの電子媒体）をお送りください。

（応募締切：2022年9月30日）

- ※郵送の場合は「提案書在中」を添付ください。
- ※イラストや応募原稿は原則として返却しません。また、作品の公開等、建設コンサルタンツ協会九州支部が必要とする場合は自由に使用します。予めご了承ください。
- ※枚数は自由ですが、400字詰め原稿用紙10枚程度までとしてください。
- ※応募作品は未発表作品に限ります。
- ※作品中のイラストや写真などは、著作権法を遵守ください。
- ※夢アイデアに関するホットラインを設けております。「hotline@jcca.or.jp」にてお気軽にご相談ください。

応募のサポートも！夢アイデアホットライン

パソコンをもっていない方、絵や文章が苦手な方・厳しい方に対し、携帯メールや夢アイデアホットラインによるサポートサービスを行います。お気軽にお申し込み・ご相談ください。

応募・お問い合わせ先

住所：〒812-0013
福岡市博多区博多駅東 1-13-9 いちご博多駅東ビル8階
（一社）建設コンサルタンツ協会九州支部「夢アイデア企画」係
TEL：092-434-4340 / FAX：092-434-4342
MAIL：qsinfo@jcca.or.jp

SNS

これまでの応募内容や夢アイデアの取り組みに関する情報は右記よりアクセス！



Web

Facebook
Instagram
Twitter @yumeidea

夢アイデアから実現したプロジェクトも！

過去19回の夢アイデアの募集の中には、実現に向かって動いているプロジェクトもあります。過去の応募作品は「夢アイデア」のホームページに掲載し、Facebook, Instagram, Twitter でも情報発信しています。夢アイデア応募の参考に、まちづくりのアイデアに、ぜひご覧ください。



【ヤギ・羊 ECO プロジェクト】



【夕陽風景時計】



【思い出 NAVI】



【子育て環境を考える会】



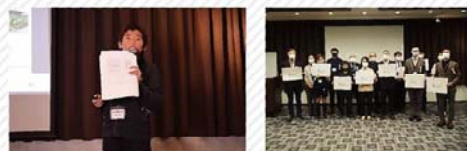
【九州郷づくり共助ネットワーク研究会】

応募された作品は「夢アイデア交流会 2022」で発表・表彰！！

2022年12月3日（土）に開催する夢アイデア交流会では、一次審査でノミネートされた夢アイデア応募作品の発表、審査、表彰を行います。今年も、新型コロナ禍での開催のため、LIVE 配信での開催を予定しております。接続方法などの詳細は、後日ホームページ等でお知らせします。どうぞお楽しみに！（※発表は会場、配信のどちらかをお選びいただけます。また、今後の新型コロナ禍の状況により交流会開催内容を変更する場合があります。）

- 開催日時 2022年12月3日（土）
- 会費 無料
- 会場 オンライン
- 配信会場 TKP ガーデンシティ博多新幹線口
福岡市博多区博多駅中央街 5-14 福さ屋本社ビル

- 参加申し込み・お問い合わせ
（一社）建設コンサルタンツ協会九州支部「夢アイデア交流会」事務局
TEL：092-434-4340 / FAX：092-434-4342 / MAIL：qsinfo@jcca.or.jp
HP：http://www.jcca.or.jp/kyokai/kyushu/dream/index.html



【夢アイデア交流会 配信会場：TKPガーデンシティ博多新幹線口 地図】

	企業名	所在地	電話
1	アーバンテクノ(株)	810-0022 福岡市中央区薬院 3-13-23	092-526-8887
2	(株)アサノ大成基礎エンジニアリング 九州支社	812-0872 福岡市博多区春町 1-6-6	092-571-5681
3	朝日開発コンサルタンツ(株)	892-0847 鹿児島市西千石町 5-1	099-226-6800
4	朝日航洋(株) 福岡支店	812-0013 福岡市博多区博多駅東 3-12-1	092-437-5905
5	朝日テクノ(株)	840-0203 佐賀市大和町大字梅野 280	0952-37-9300
6	アジアエンジニアリング(株)	815-0031 福岡市南区清水 1-14-8	092-553-2800
7	(株)アジア技術コンサルタンツ	890-0069 鹿児島市南郡元町 25-1	099-251-2160
8	(株)アジア建設コンサルタント	815-0082 福岡市南区大楠 2-8-13	092-521-5931
9	アジア航測(株) 福岡支店	812-0011 福岡市博多区博多駅前 4-9-2	092-441-1480
10	アズテックコンサルタンツ(株)	830-0046 久留米市原古賀町 30-1	0942-36-3560
11	(株)有明測量開発社	861-4108 熊本市南区幸田 2-7-1	096-381-4000
12	E-tecsコンサルタント(株)	857-0136 佐世保市田原町 9-15	0956-41-4333
13	いであ(株) 九州支店	812-0055 福岡市東区東浜 1-5-12	092-641-7878
14	(株)ウエスコ 九州支社	812-0016 福岡市博多区博多駅南 2-1-9	092-483-3291
15	エイコーコンサルタンツ(株)	815-0083 福岡市南区高宮 5-10-12	092-534-8150
16	(株)エイト日本技術開発 九州支社	812-0018 福岡市博多区住吉 3-1-80	092-686-9941
17	(株)エース 九州支社	812-0013 福岡市博多区博多駅東 2-9-25	092-292-0821
18	(株)エスケイエンジニアリング	818-0072 筑紫野市二日市中央 1-1-50	092-925-4880
19	(株)エム・ケー・コンサルタント	812-0882 福岡市博多区麦野 6-14-19	092-573-2777
20	(株)オオバ 九州支店	810-0074 福岡市中央区大手門 1-1-12	092-714-7521
21	扇精光コンサルタンツ(株)	851-0134 長崎市田中町 585-4	095-839-2114
22	応用地質(株) 九州事務所	812-0018 福岡市博多区住吉 3-1-80-3F	092-402-0840
23	(株)オービット	812-0877 福岡市博多区元町 1-7-12	092-589-3418
24	(株)オリエンタルコンサルタンツ 九州支社	812-0011 福岡市博多区博多駅前 3-2-8	092-411-6209
25	(株)片平新日本技研 福岡支店	812-0013 福岡市博多区博多駅東 3-1-1	092-433-8805
26	川崎地質(株) 九州支社	812-0016 福岡市博多区博多駅南 1-8-34	092-292-4386
27	(株)技術開発コンサルタント	812-0036 福岡市博多区上呉服町 12-8	092-271-2518
28	基礎地盤コンサルタンツ(株) 九州支社	814-0022 福岡市早良区原 2-16-7	092-831-2511
29	九建設計(株)	876-0045 佐伯市大字上岡 2270	0972-22-4126
30	(株)九州開発エンジニアリング	862-0912 熊本市東区錦ヶ丘 33-17	096-367-2133
31	九州技術開発(株)	849-0937 佐賀市鍋島 5-7-23	0952-32-1112
32	九州建設コンサルタント(株)	870-0946 大分市大字曲 936-1	097-569-9595
33	九州工営(株)	880-0015 宮崎市大工 2-117	0985-28-1122
34	(株)九州土木設計コンサルタント	880-0123 宮崎市大字芳士 3701-59	0985-39-3330
35	九和設計(株)	806-0068 北九州市八幡西区别所町 2-38	093-641-3773
36	協同エンジニアリング(株)	870-0876 大分市大字三芳 1238-1	097-545-2111

	企業名	所在地	電話
37	(株)共同技術コンサルタント	880-0824 宮崎市大島町山田ヶ窪 1926-1	0985-29-0240
38	(株)橋梁コンサルタント 西日本支社	812-0013 福岡市博多区博多駅東 1-9-11	092-461-2011
39	(株)キョウワ	879-0627 豊後高田市新地 1952-3	0978-24-3062
40	(株)協和コンサルタンツ 九州支社	810-0001 福岡市中央区天神 3-11-20	092-733-1241
41	(株)熊本建設コンサルタント	862-0917 熊本市東区榎町 16-52	096-367-4111
42	(株)ケイディエム	883-0005 日向市中堀町 3-119	0982-52-0696
43	(株)ケー・シー・エス 九州支社	812-0011 福岡市博多区博多駅前 1-4-4	092-472-4521
44	(株)建設環境研究所 九州支社	812-0023 福岡市博多区奈良屋町 2-1	092-271-6600
45	(株)建設技術研究所 九州支社	810-0041 福岡市中央区大名 2-4-12	092-714-2211
46	(株)建設技術コンサルタンツ	890-0007 鹿児島市伊敷台 1-22-1	099-229-2800
47	(株)建設技術センター	812-0023 福岡市博多区奈良屋町 1-1	092-283-6610
48	(株)建設コンサルタントサニー	870-0952 大分市下郡北 3-24-3	097-567-8600
49	(株)晃和コンサルタント	880-0925 宮崎市大字本郷北方 3009-1	0985-51-5818
50	(株)興和測量設計	861-5501 熊本市北区改寄町 2141-1	096-272-7711
51	国際技術コンサルタント(株)	849-0203 佐賀市久保田町大字新田 3797-3	0952-51-3711
52	国際航業(株) 九州支社	812-0013 福岡市博多区博多駅東 3-6-3	092-451-5001
53	(株)国土開発コンサルタント	880-0015 宮崎市大工 3-155	0985-24-6487
54	(株)国土技術コンサルタンツ	890-0008 鹿児島市伊敷 2-14-10	099-229-0030
55	(株)コスモエンジニアリング	843-0001 武雄市朝日町大字甘久 3796	0954-23-0200
56	(株)五省コンサルタント	812-0027 福岡市博多区下川端町 9-12(福岡武田ビル)	092-281-4210
57	(株)コンサルハマダ	861-8034 熊本市東区八反田 1-1-15	096-385-1171
58	(株)サザンテック	876-0111 佐伯市弥生大字井崎 495-2	0972-28-5686
59	(株)佐藤設計コンサルタント	879-7111 豊後大野市三重町赤嶺 902	0974-22-6432
60	産業開発コンサルタント(株)	812-0044 福岡市東区筥松 3-13-9	092-621-7118
61	(株)サン建コンサルタント	879-5502 由布市挾間町向原 1298-1	097-583-4218
62	サンコーコンサルタント(株) 九州支社	810-0802 福岡市博多区中洲中島町 2-3-6F	092-271-2903
63	(株)サンコンサル	812-0888 福岡市博多区板付 2-5-4	092-582-1290
64	(株)三洋コンサルタント	800-0031 北九州市門司区高田 1-3-1	093-342-8240
65	ジーアント・エスエンジニアリング(株)	812-0007 福岡市博多区東比恵 3-24-9	092-481-3100
66	JR九州コンサルタンツ(株)	812-0013 福岡市博多区博多駅東 1-1-14	092-413-1021
67	シビックアーツコンサルタント(株)	815-0032 福岡市南区塩原 4-5-29	092-555-4151
68	(株)島田設計コンサルタント	882-0803 延岡市大貫町 4-1333-3	0982-33-5141
69	(株)新栄設計事務所	857-0051 佐世保市浜田町 2-27	0956-25-1549
70	(株)新日本技術コンサルタント	890-0034 鹿児島市田上 8-24-21	099-281-9143
71	(株)親和コンサルタント	849-0933 佐賀市卸本町 7-25	0952-32-1348
72	(株)スリーエヌ技術コンサルタント	812-0008 福岡市博多区東光 2-1-13-8F	092-482-7800
73	(株)セイコー	830-0052 久留米市上津町 1874	0942-22-5850
74	精巧エンジニアリング(株)	879-5103 由布市湯布院町川南 11-3	0977-85-3344

	企業名	所在地	電話
75	精工C&C(株)	847-1211 唐津市北波多岸山 611-16	0955-64-2237
76	(株)西部技建コンサルタント	886-0004 小林市細野 4158	0984-24-0511
77	(株)西部技術コンサルタント	812-0016 福岡市博多区博多駅南 4-18-12	092-437-5711
78	セントラルコンサルタント(株) 九州支社	812-0013 福岡市博多区博多駅東 2-14-1	092-432-5385
79	(株)総合技術コンサルタント 九州支店	812-0011 福岡市博多区博多駅前 1-9-3	092-432-0555
80	(株)第一技術コンサルタント	815-0036 福岡市南区筑紫丘 2-6-11	092-554-1773
81	第一復建(株)	812-0006 福岡市博多区上牟田 1-17-9	092-412-2230
82	タイエーコンサルタント(株)	879-0311 宇佐市大字森山 1813-5	0978-32-0584
83	(株)大進	890-0016 鹿児島市新照院町 21-7	099-239-2800
84	(株)大進コンサルタント	861-2102 熊本市東区沼山津 4-2-22	096-365-0112
85	大成シオテック(株)	830-0038 久留米市西町 1174-10	0942-34-5622
86	(株)タイセイプラン	862-0924 熊本市中央区帯山 1-44-39	096-381-5665
87	大日本コンサルタント(株) 九州支社	812-0007 福岡市博多区東比恵 4-2-10-4F	092-289-1840
88	大福コンサルタント(株)	890-0068 鹿児島市東郡元町 17-15	099-251-7075
89	(株)太平設計	802-0023 北九州市小倉北区下富野 1-6-21	093-551-1413
90	(株)ダイヤコンサルタント 九州支社	812-0044 福岡市博多区千代 5-3-19	092-645-1280
91	太陽技術コンサルタント(株)	882-0062 延岡市松山町 1170-1	0982-33-2107
92	大洋測量設計(株)	879-0444 宇佐市大字石田 44	0978-32-4234
93	(株)高崎総合コンサルタント	839-0809 久留米市東合川 3-7-5	0942-44-8333
94	(株)地圏総合コンサルタント 九州支店	810-0041 福岡市中央区大名 2-4-12(CTI 福岡ビル)	092-731-1121
95	中央開発(株) 九州支社	814-0103 福岡市城南区鳥飼 6-3-27	092-831-3111
96	(株)中央技術コンサルタンツ 西日本支社	862-0950 熊本市中央区水前寺 6-27-25	096-383-5353
97	中央コンサルタンツ(株) 福岡支店	812-0039 福岡市博多区冷泉町 2-1	092-271-2541
98	中央復建コンサルタンツ(株) 九州支社	812-0038 福岡市博多区祇園町 4-61	092-282-0441
99	(株)長大 福岡支社	810-0004 福岡市中央区渡辺通 1-1-1-6F	092-737-8360
100	(株)千代田コンサルタント 九州支店	812-0018 福岡市博多区住吉 2-2-1-3F	092-262-0770
101	(株)テクノ	839-0809 久留米市東合川 3-1-21	0942-44-8700
102	(株)テクノコンサルタント	870-0108 大分市三佐 1-5-14	097-527-5111
103	東亜建設技術(株)	819-0046 福岡市西区西の丘 1-7-1	092-892-7710
104	(株)東亜コンサルタント	812-0007 福岡市博多区東比恵 3-28-10	092-415-1313
105	東亜コンサルタント(株)	870-0150 大分市東原 1-20-17	097-558-4884
106	(株)東京建設コンサルタント 九州支社	812-0016 福岡市博多区博多駅南 2-12-3	092-432-8000
107	(株)東光コンサルタンツ 九州支店	812-0007 福岡市博多区東比恵 3-12-16-5F	092-472-3323
108	(株)トーニチコンサルタント 九州支店	812-0011 福岡市博多区博多駅前 2-6-10	092-686-7300
109	東洋技術(株)	870-0856 大分市畑中 2-7-42	097-554-5330
110	東洋測量設計(株)	879-2421 津久見市大字津久見 515	0972-82-5646
111	(株)キワ・シビル	812-0882 福岡市博多区麦野 1-22-3	092-571-3737
112	内外エンジニアリング(株) 福岡支社	812-0016 福岡市博多区博多駅南 3-20-3	092-431-2851

	企業名	所在地	電話
113	(株)西田技術開発コンサルタント	889-1602 宮崎市清武町今泉丙 722	0985-77-8855
114	西鉄シー・イー・コンサルタント(株)	815-0033 福岡市南区大橋 2-8-1	092-235-9140
115	西日本技術開発(株)	810-0004 福岡市中央区渡辺通 1-1-1	092-781-2831
116	西日本建技(株)	812-0013 福岡市博多区博多駅東 1-13-6	092-441-7676
117	西日本コンサルタント(株)	870-0852 大分市田中町 1-1-8	097-543-1818
118	西日本総合コンサルタント(株)	849-0902 佐賀市久保泉町大字上和泉 3114-3	0952-98-2141
119	(株)西日本測量設計	830-0051 久留米市南 1-14-11	0942-32-2323
120	(株)日建技術コンサルタント 九州支社	812-0024 福岡市博多区綱場町 8-23	092-263-5250
121	(株)日建コンサルタント	870-0018 大分市豊海 3-7-7	097-534-0313
122	日進コンサルタント(株)	871-0025 中津市万田 602-2	0979-24-5436
123	(株)日水コン 九州支所	812-0038 福岡市博多区祇園町 7-20	092-282-1354
124	(株)日設コンサルタント	812-0035 福岡市博多区中呉服町 1-22-2F	092-262-2377
125	日鉄鉱山コンサルタント(株) 九州本社	812-0013 福岡市博多区博多駅東 2-6-23	092-451-6467
126	(株)日本インシーク 九州支社	812-0013 福岡市博多区博多駅東 1-18-25	092-433-2771
127	日本工営(株) 福岡支店	812-0007 福岡市博多区東比恵 1-2-12	092-475-7131
128	日本工営都市空間(株) 九州支店	812-0007 福岡市博多区東比恵 1-2-12	092-451-6141
129	日本交通技術(株) 九州支店	812-0012 福岡市博多区博多駅中央街 8-20	092-433-3070
130	(株)日本港湾コンサルタント 九州支店	812-0013 福岡市博多区博多駅東 3-14-1-10F	092-482-0345
131	日本振興(株) 九州支店	812-0013 福岡市博多区博多駅東 2-5-21-2F	092-481-0264
132	日本地研(株)	812-0894 福岡市博多区諸岡 5-25-25	092-571-2764
133	(株)ニュージェック 九州支店	812-0013 福岡市博多区博多駅東 2-14-1-3F	092-402-0251
134	(株)萩原技研	892-0816 鹿児島市山下町 16-20	099-222-8700
135	パシフィックコンサルタンツ(株) 九州支社	812-0012 福岡市博多区博多駅中央街 7-21	092-418-8020
136	(株)パスコ 九州事業部	812-0007 福岡市博多区東比恵 3-5-2	092-451-3522
137	(株)東九州コンサルタント	882-0861 延岡市別府町 4209-2	0982-33-1120
138	(株)久永コンサルタント	890-0007 鹿児島市伊敷台 1-22-2	099-228-6600
139	日向測量設計(株)	883-0013 日向市新生町 1-72	0982-52-5445
140	フェニックスコンサルタント(株)	880-0121 宮崎市大字島之内字境田 6652	0985-39-2914
141	(株)福山コンサルタント	812-0013 福岡市博多区博多駅東 3-6-18	092-471-0211
142	(株)富士設計	870-0942 大分市大字羽田 930-1	097-574-5318
143	(株)フタバ設計	812-0887 福岡市博多区三筑 1-6-14	092-591-6903
144	(株)復建エンジニアリング 福岡支社	810-0041 福岡市中央区大名 2-12-15-2F	092-716-6262
145	復建調査設計(株) 九州支社	812-0013 福岡市博多区博多駅東 3-12-24	050-9002-4660
146	(株)ホープ設計	903-0813 那覇市首里赤田町 3-5	098-911-9073
147	(株)間瀬コンサルタント 福岡支店	812-0013 福岡市博多区博多駅東 2-6-28	092-471-6610
148	(株)松尾設計	805-0061 北九州市八幡東区西本町 2-5-5	093-661-4970
149	松本技術コンサルタント(株)	871-0161 中津市大字上池永 1285-10	0979-23-3636
150	(株)水野建設コンサルタント	862-0933 熊本市東区小峯 2-6-26	096-365-6565

	企業名	所在地	電話
151	(株)溝田設計事務所	830-0032 久留米市東町 480-16	0942-38-6548
152	三井共同建設コンサルタント(株) 九州支社	812-0013 福岡市博多区博多駅東 2-14-1	092-441-3872
153	(株)宮崎産業開発	880-0022 宮崎市大橋 3-225	0985-27-7103
154	八洲開発(株)	862-0920 熊本市東区月出 1-1-52	096-384-3225
155	八千代エンジニアリング(株) 九州支店	810-0073 福岡市中央区舞鶴 3-9-39-9F	092-778-2001
156	(株)ワコー	861-4172 熊本市南区御幸笛田町 3-19-1	096-370-3333

(令和4年7月1日現在 156社)

